

3月22日、豊平区役所で、地域の情報発信に重要な役割を担う地域FM局FMアップルのパーソナリティー2人と荒川区長が、平成17年度に取り組んだ事業や今後のまちづくり、区職員に求められることなどについて意見交換をするセミナーを開催し、区職員43人が参加しました。概要をご紹介します。



にしだ いくこ
西田 郁子さん

気持ちのスマイル

区役所に来る機会が多いのですが、どんどん雰囲気明るくなっていると思いつつも、まだサービスが足りない部分も感じます。実施プランにも「スマイル宣言」という項目がありますが、区民が求めているのは形だけの笑顔ではなく、「おもてなしのこころ」を持つ「気持ちのスマイル」だと思います。区役所の今後の課題は、いかに地域と連携していくかということではないでしょうか。安心安全なまち、住みやすいまち、活気のあるまちをつくりたいと考えている区民は多いと思います。そんな人たちのコーディネーター役を区職員に担っていただきたいですね。いろいろな所に出て行って、多くの区民と対話をしてください。



ふくつ きょうこ
福津 京子さん

もっとPRを！

ラジオの番組で、区の取り組みを数多く紹介してきましたが、一番印象に残っているのは、区のキャラクター「こりんとめーたん」をモチーフにしたお菓子づくり事業でした。地元の小学生たちのデザイン画から商品が出来上がるまでの過程ではたくさんのエピソードが生まれました。その様子などを、職員の方が積極的に区民にPRしていけば、区役所が地域の中でさまざまな取り組みを行っているということがもっと伝わるとと思います。また、このようなキャラクターグッズを、地域の子どもたちや学生、福祉施設の方たちなどと一緒に作り、商店街の空き店舗を利用して販売するのもおもしろいですね。



あらかわ しょういち
荒川 正一区長

区長は広報マン

区長に就任した昨年の4月から、たくさんの地域の方たちと接してきましたが、今年はさらに地域との関係を密接にし、区の広報マンとしてPR活動をしていきます。そして、区役所と地域のコミュニケーションの一環として、区内で行われる行事に、区職員に積極的に参加してもらおうと考えています。職員がどんどん情報を発信し、区民と身近に接することでお互いの信頼を醸成していけば、なにか問題が生じても解決していけるのではないのでしょうか。平成18年度の事業として、「こりんとめーたん」のキャラクターグッズづくりも計画しています。その際には、多くの区民の意見も参考にしたいですね。また、地域の細かな情報の発信も課題のひとつです。まずは災害時の情報発信を確実にしていくために、FMアップルと連携を強化していくこととしましたが、今後はもっと情報の幅を広げていきたいですね。

広報 さっぽろ豊平区版 で取り上げてほしい テーマ を募集 します！

広報さっぽろ豊平区版（見開き2ページ）で取り上げてほしいテーマを募集します。まちづくり、公園情報、子育て情報、町内会活動など、豊平区に関して知りたいことや、区民で共有したい情報はありますか？下記の要領でぜひご応募ください！

◆募集内容 広報さっぽろ豊平区版（見開き2ページ）のテーマ。ジャンルは問いませんが、特定のお店や法人などの営利活動の宣伝はできません。なお、採用された方には、ご負担とならない範囲で編集など誌面づくりに参加していただきます。

◆対象 区内にお住まいの方。区内に活動の拠点がある団体。

◆応募方法 はがき（〒062-8612 豊平区役所広聴係あて）、ファクス（813-3603）、Eメール（toyohira-ward@city.sapporo.jp）のいずれかで、氏名、住所、電話番号、テーマの内容を記載してご応募ください。

◆応募の締め切り 平成18年6月30日（金）当日消印有効。

◆採用の発表 採用テーマの掲載をもって発表に代えさせていただきます。

◆その他 掲載する時期はテーマの内容により決定いたします。

（詳細）区役所総務企画課広聴係 内線214

